

FWTセミナー&ワークショップ開催



地区FWTコーディネーター兼
地区FWT委員長

L. 山浦 悦子 長野LC

開催日：2015年10月18日(日)

10月18日1R～4Rまでの、クラブ代表女性会員と地区役員の皆様、含めて70名が参加頂き「FWTセミナー&ワークショップ」を開催致しました。

330複合地区FWTコーディネーター、L. 小川晶子をお迎えし、講演会、及びワークショップ、懇親会の3部構成で行われ「FWTって何?、その目的を形にする為に」と題して講演を頂きました。



始めに、なぜ家族および女性チームが必要か?

それは、ライオンズ奉仕活動をしっかりとやるためには、その担い手が必要であり、次世代まで奉仕の手を繋げていかなければならないのです。

山田会長プログラムの柱の一つ、“キャッチフレーズ”は「アスク・ワンは家族から」・・・

家族の皆さんに奉仕の楽しさを知ってもらい、又、家族ができる奉仕活動に取り組み、家族や女性会員が定着し、さらに力を発揮できる環境をつくるのが大事である。

女性の目線で、ライオンズ奉仕活動をとらえ、自らを高め、リーダーシップを育み、その奉仕活動に賛同する仲間を増やし、奉仕人口を拡大していくことが目的です。又、ライオンズメンバーとなって心をこめて、参加したくなる奉仕は、何でしょうか?・・・

それは、必要とされること、役に立つこと、愛されること、褒められることが、人間の究極の幸せと、言われております。お話の中から、FWTで何をするのか、見えて来ました。

334E地区、FWTはこれから行動に移します。

ワークショップでは、9班に分かれ約2時間、女性会員の現状及び女性会員が生き生きと活動できる奉仕活動は?、女性会員を誘いやすくするには?、最後に全体をふまえ、取るべき行動を! 各グループごと発表が行われ、本音で楽しく、他クラブとの有意義な意見交換が出来た、一日でした。



ライオンズクエスト ワークショップ&体験セミナー開催



地区ライオンズクエスト第1委員長

L. 飯田 重光 長野みすずLC

8月6日・7日両日「第4回ワークショップ」と10月8日(木)教育センターでの「体験セミナー」を実施しました。

8月の「ワークショップ」は、増田ガバナーはじめ、キャビネット役員の皆様にご出席を頂き、全県から26名の先生方とライオンズメンバーも3名参加し開催されました。

最初は緊張気味の先生方も午後になると打ち解けて、積極的に参加されておりました。



「最初の一步」に阿部知事も参加

長野県との連携協定もあり、2日目の午後「阿部長野県知事」が「ワークショップ」を視察され、チーム毎の発表や展示物を熱心にご覧になり、参加の先生方と「最初の一步(パフォーマンス)」も行って頂き、ライオンズクエストの理解を頂いた一日となりました。

初日「信濃毎日新聞」の取材が有り、7日朝刊に記事掲載され、又、二日目「民放3局」から取材を頂き、夕方・夜のニュースで報道されました。

10月8日に開催された、第3回「ライオンズクエ

開催日：第4回ワークショップ

2015年8月6日(木)・7日(金)

第3回体験セミナー

2015年10月8日(木)

ト体験セミナー」は、県教育委員会の教育センター内のプログラムとして開催されました。

同様の「セミナー」を来年1月21日に開催致します。

アンケートの一部を掲載しましたが、「ワークショップ」「体験会セミナー」に参加された先生方から「是非うちの学校で開催して頂きたい」との声も聞かれ、ライオンズクエストの重要性が確実に浸透しつつあると感じております。

ここまでクエストを築き上げられた先輩ライオン方々のご努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。



ワークショップ取材報道

- ・信濃毎日新聞8月7日掲載
- ・信越放送8月7日放送
「SBCニュースワイド」
- ・長野放送8月7日放送
「NBSみんなのニュース」
- ・テレビ信州8月7日放送
「TSB報道現場」

▶ 参加先生方の感想

4 参加してみての感想をお願いします (小学生版・思春期版)

ライオンズ教育の理念を知り、活動の実践も体感する
ことが出来、とても充実した2日間となりました。
様々な授業を自分たちでやり、また授業も見ること
で、何の重点を置いて伝えるべきかを深く考える
機会となりました。
今後の学習活動にも活かしていきたいと思います。

4 参加してみての感想をお願いします (小学生版・思春期版)

とてもいいですね。
全てを学校活動の中でやるよりも負担に感じず、
自分の前にいる子供に合わせた時に、その時に必要な
やり方を模索して、これが必要だと感じた。また、
普段当たり前に思っている人々の考え、心理と授業とを
折り返して伝えることが出来るので、自然と子供へ還元していき
ました。この取り組みが子供達の将来を助けてくれる。

今後の予定

第5回ワークショップ開催

2016年 1月16日(土)・17日(日)
佐久市 市民創錬センター

第6回ワークショップ開催

2016年 3月23日(水)・24日(木)
長野市立 東部中学校

第4回セミナー開催

2016年 1月21日(木)
塩尻市総合教育センター

献血推進アドバイザー認定講習会を開催



地区献血・骨髄移植委員長

L. 荒川 慶明 長野松代LC

今年で8回目となる献血推進アドバイザー認定講習会を11月19日に塩尻市総合文化センターで開催しました。増田悌造ガバナーはじめ、地区内26クラブの50名が出席し、長野県赤十字血液センター3名の講師から、献血の現状、問題点について熱心に聴講しました。長野県の献血量は、近年ほぼ横ばいで推移しているものの、30歳代以下の若年層の献血者の減少

開催日：2015年11月19日(木)

が著しく、40歳代以上の献血者によって、何とか量は確保されているとの事です。また、輸血を受ける患者さんのリスクを減らす為、400ml献血が主流で、200ml献血は在庫不足の場合のみ行っていることなど学びました。

今後も献血活動に積極的に関わっていく上で、血液センターと連携を密接にとり、的確な啓蒙・啓発活動の継続、特に若年層への訴えかけが大変重要だと痛感しました。



薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催



地区薬物乱用防止委員長

L. 山崎 昭宏 長野白樺LC

11月27日(金)長野市生涯学習センター大学習室にて、334-E地区 薬物乱用防止教育認定講師養成講座が、43名の受講ライオンを迎え、開催されました。当日は長野市は今年の初雪に見舞われ、寒い日になりましたが、講師の熱のこもった話に真剣に取り組み、素晴らしい養成講座が開催されました。

「薬物乱用と身体への影響」土浦環LC L.万本盛三さんは子供達のたばこ・酒が薬物につながっていく、子供達への影響作りが大切と訴えておりました。

「薬物乱用防止対策の取り組み」長野県健康福祉部の児玉容さん、「長野県における薬物乱用の現状」長野県警察本部の中川健二さん、「薬物乱用防止教育の現状」長野県教育委員会の堀内雅司さんの3名の講師から、長野県内の薬物乱用防止についてプロジェクターを使用し、いろいろな角度、そして統計を使ってお話を頂きました。

最後に、「薬物乱用防止教育の実践活動」と題して

開催日：2015年11月27日(金)

330複合地区薬物乱用防止委員長 L.寺田義和さんが、実践した学校での「薬物乱用防止教育」の取り組みの方法をお話して頂きました。

「学校との打合せの方法」「講演内容組み立てについて」「講師本人の心構え」「司会は学校が行い、学校長の挨拶、クラブ会長の挨拶、ビデオの上映15分、講演は25分以内、合計50分以内とする」など、実践した内容を細かくお話しして下さいました。そして、「反復練習すること」「数多く講座を経験すること」「他人の講演も数多く聞くこと」など、次に呼んでもらえるような講演に努力してほしい。

総評で麻薬・覚せい剤乱用防止センター 飯塚博史さんが334-E地区のライオンと協力してこの講座をますます充実した養成講座になるよう努力したい、薬物乱用防止の活動については、いつでもお問い合わせ下さいと協力を頂きました。4時間と長時間の講座が終わり、修了証をお渡ししました。この講座を基に、クラブにおかれて薬物乱用防止活動に益々努力されることを願っております。

